

西沢渓谷で紅葉を満喫しよう！

日時：2019年10月31日（木） 天候：晴 歩数：16000歩 約11km 健脚LV1

集合：JR中央線高尾駅3番線ホーム（先頭車両）7時20分

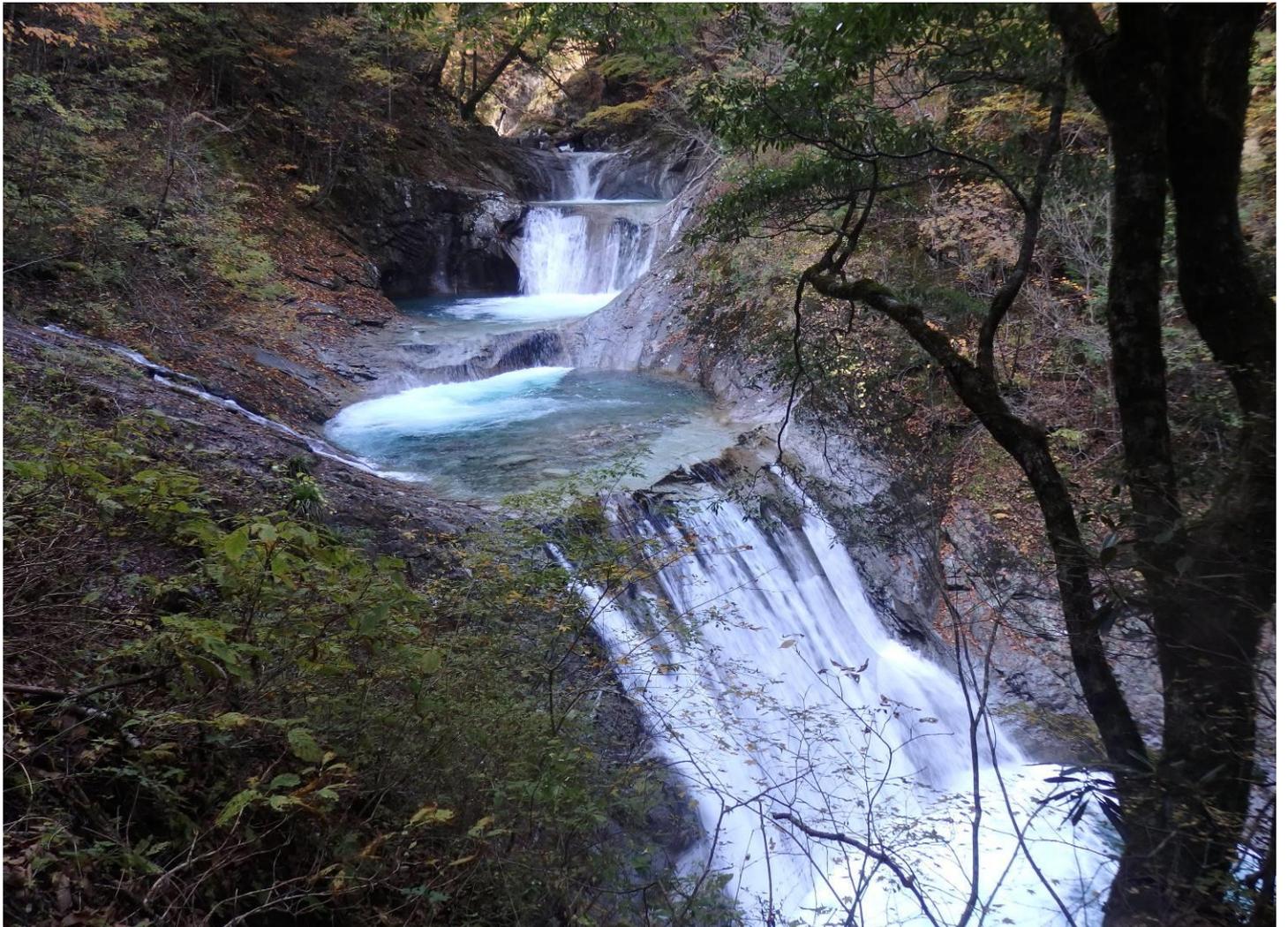
コース：高尾駅（7時28分発小淵沢行き、始発）→（8時44分）JR塩山駅→塩山駅バス停1番線（9時05分発西沢渓谷行）→（10時05分）西沢渓谷入り口バス停→ネトリ広場¹→西沢山荘前→二俣吊橋→大久保の滝→三重の滝→人面洞→竜神の滝→恋糸の滝→貞泉の滝→母胎淵→（昼食）→方丈橋→七ツ釜五段の滝→不動滝→西沢渓谷終点展望台²→旧森林軌道→大展望台→大久保沢→ネトリ大橋→ネトリ広場¹→西沢渓谷入り口バス停（バス）→山梨市駅

参加者 市村 中村ゆ 奥村 山田

西沢渓谷は国内屈指の渓谷美を誇る景勝地。紅葉の時期には際だった美しさを見せてくれます。巨大な花崗岩を清流が削ってできた見事な景観と紅葉がよく合います。西沢渓谷歩道管理組合のホームページによると、紅葉の見頃は10月中旬から11月上旬。

中央線が、台風19号の影響で高尾～相模湖間が単線運転を行い1時間に1本程度の運転が続いていました。10月28日に全面復旧、晴天に恵まれてのハイキングとなりました。

七ツ釜五段の滝をはじめ水量多く、勢いよく流れ落ちる滝に圧倒されました。紅葉には少し早いようでしたが、上るにつれて色づいていて光越しに見える紅葉は綺麗でした。



塩山駅～西沢溪谷入り口バス停～西沢ゲート～林道～ネトリ広場

JR中央線高尾駅7時28分発小淵沢行きの特急がある先頭車両に乗車。定刻の8時44分に塩山駅着、確かな交通網があってこそウォーキング計画が成り立ちます。中央線復旧に感謝です。塩山駅バス停1番線、9時5分発の西沢溪谷行バスに乗車、乗客20人程。北に向かって1時間ほど進むと、左手に見える広瀬湖は満水状態でした。10時7分、西沢溪谷入り口バス停に着きました。

バス停近くのおみやげ屋で美味しそうなよもぎ餅を販売していました。左手に下りると駐車場、マイカーでほぼ満車状態。バス組は少数派のようです。ストレッチをして林道を10時12分にスタートです。ゲートがあり、一般車は進入禁止。「小熊の目撃情報注意」の掲示がされていました。

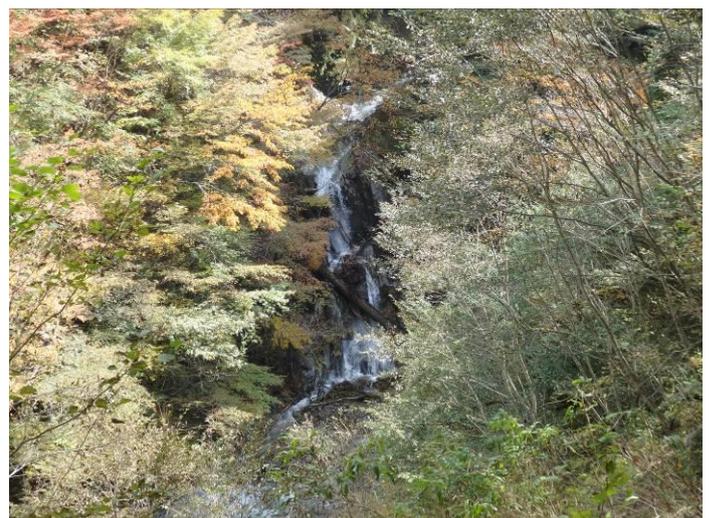
林道を進みます。早くも滝が現れ空気はひんやりと爽やかで木洩れ日のなかのハイキング、期待感いっぱい足を進めます。20分ほどでネトリ広場、トイレタイム。「西沢溪谷鳥瞰図」の案内板によると、バス停のところが標高1100m、西沢溪谷終点展望台の標高が1370m、標高差270mのハイキングです。



ネトリ広場～西沢山荘前～西沢渓谷入口～二俣吊橋～大久保の滝

ネトリ広場スタートです。ここもまだ林道のように道幅広く、しばらく平坦な道です。甲武信ヶ岳登山口があり、その先に「徳ちゃん新道」登山口、ここも甲武信ヶ岳への登山口の様です。登山口脇に大きな西沢山荘がありました。林道と別れて、西沢渓谷入口の標識の方向に進みます。

左側は渓谷でかなりな深さです。「落下事故多発、足元注意」の立て看板も出ていました。二俣吊橋を渡ります。水面からは30m位の高さか、みなさん楽々と歩いてきます。吊橋を過ぎて高度を上げていくと大久保沢から合流してくる落差の大きい大久保の滝に出ました。



大久保の滝～三重の滝～鎖場～ロープ伝い～仮設橋～紅葉～竜神の滝

大分歩いてきて暑くなってきました。次は三重の滝、滝の水が流れ込んで花崗岩が削られたのでしょうか円形になっています。鎖場の道を上ります、ロープ伝いの上りあり、仮設橋あり、ウナギの床は沢が深く切り込んでいます。岩場の上りは足元に注意して慎重に上ります。ここの岩場を下りるのはかなり怖いと思います。西沢溪谷のハイキングコースは沢を上って、下りは旧森林軌道を歩きますので沢を下りてくる人はいません。ゆるやかな流れのところに出てホッと一息、高度を上げてきたので木々が少し色づいています。

竜神の滝に出ました。



竜神の滝～路肩注意～恋糸の滝～クサリ場～仮設足場～岩場で昼食

路肩注意の道、「道幅が狭くなっています。譲り合って一列で歩きましょう」の注意書き。恋糸の滝、貞泉の滝と続きます。「クサリにつかまって歩こう」の注意書き。仮設足場に出ました。水量多く1週間ほど前までは水に浸かって歩いていたようで、急遽仮設足場が設置されたようです。岩場をクサリにつかまって這い上ります。ハイキングコースと銘打っていますが「西沢溪谷ハイキングコース手強い」の気持ちになってきました。

12時丁度、水辺の岩場で昼食タイムです。足場悪く銘々座り心地の良いところを探して座りました。山田さんの席、岩場の向こうは激流ですよ～

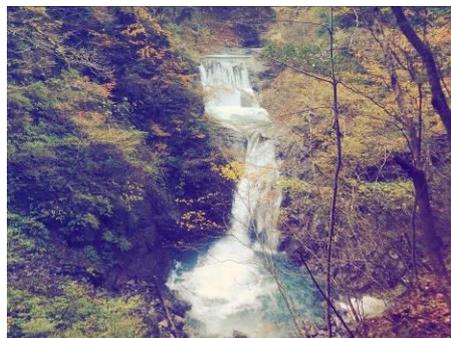


午後スタート～沢渡り～カエル岩～方丈橋～七ツ釜五段の滝

12時25分、午後スタートです。前方に沢が現れました。前を行く人が恐々と進んでいます。左側は大きく切れ込んでいるので、山側を歩いたほうが安全なのではと思いながらシャッターを切りました。もちろん私たちは山側を慎重に渡ります。岩場の上り道はまだ続きます。

カエル岩の案内板が出てきました。どうやら前方の岩がカエル岩のようです。

方丈橋を渡ると日本の滝百選に選ばれている七ツ釜五段の滝が見えてきました。西沢渓谷最大で落差は約30m、ものすごい水量に圧倒されます。



七ツ釜五段の滝～急峻な木段～西沢溪谷終点～旧森林軌道～大展望台

マイナスイオンを浴びながら、滝見橋から見る七ツ釜五段の滝にしばし見とれてしまいます。「西沢溪谷終点まで100m」の案内板が出てきました。最後は急峻な木段。標高1370mの西沢溪谷終点展望台は多くの方が休憩中でした。甲武信主脈山塊の眺望と紅葉を楽しんで13時20分、旧森林軌道を下山開始です。

この軌道跡は、旧三富村と塩山を結び三塩軌道と呼ばれ全長3.6km。昭和8年から43年まで西沢・東沢一帯の木材搬出に使われました。上りは馬が引上げ、下りは自然勾配だけで下りました。道は緩やかな下り、いくつもの橋を渡り、紅葉を満喫しながらの下山です。13時43分、大展望台に到着です。



大展望台～山の神～ネトリ大橋～ネトリ広場～バス停～山梨市駅

大展望台は、2000メートル級の甲武信主脈山塊の眺望を楽しむ人で混雑していました。ふたつ山頂があるような山が鶏冠山、その右が木賊山、甲武信ヶ岳は木賊山の奥です。なだらかな下りでトロッコが走った道幅があり歩きやすいです。下りの半分ほどに来ました。シャクナゲ群生地の看板があるところを歩きます。ここが一番大きな群生地のようで、5月上旬から中旬が見ごろのようです。

山の神が祀られている祠の前を通り大きなネトリ橋を渡ります。14時37分、ネトリ広場に戻ってきました。14時58分、西沢溪谷入り口バス停着。帰りは15時10分発の山梨市駅行バスに乗車しました。



西沢溪谷、標高が上がるに従い紅葉が色づいていて綺麗でした。笛吹川は台風の大雨の影響で水量多くミニ沢渡りもあり少しアドベンチャーハイキングでした。

来年の新緑の季節にハイキングを計画したいと思っています。

(いちむら記)